

感染症定期報告の報告状況(2007/4/1～2008/3/31)

資料No.4-1

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
1	2007/04/02	70001	日医工	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
2	2007/04/02	70002	日医工	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
3	2007/04/02	70003	三菱ウェルファーマ	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国、アメリカ、カナダ、オーストラリア	有効成分	有	無	無	E型肝炎	Emerg Infect Dis 2006; 12: 1682-1688	中国南部の人々のHEV感染について調べたところ、家の近くでブタを飼っている8つの共同体で得られたHEV分離株24中23はジェノタイプ4株であった。IgG抗HEV血清有病率は、60歳以下では1歳毎に約1%ずつ増加した。30歳以上では血清有病率は女性より男性で高率に増加した。全体的血清有病率は43%であった。感染率は25-29歳で高かった。HEV感染は中国南部では少なくとも60年間、風土病であり、ブタがヒトHEV感染の主な宿主であることが示唆された。
												口蹄疫	OIE Disease Information 20(5) 2007年2月1日	中国における口蹄疫—Follow-up report No.1: 開始日—2007年1月15日、アウトブレイクの確定日—2007年1月17日、報告日—2007年1月30日、前回の発生日—2006年11月、病因—口蹄疫ウイルス(血清型Asia1)、新たなアウトブレイク—Xinjiang, Xinheの村(アウトブレイクの開始日—2007年1月23日):ウシにおいて疑い例25例、処分25例、ブタにおいて疑い例48例、処分48例、感染源—不明もしくは結論に到達していない。
												鳥インフルエンザ	英国保健省 2007年3月20日	2007年3月20日現在、感染したトリとの接触の結果、ヒト281名がトリインフルエンザに感染し、その内169名が死亡した。H5N1がヒトからヒトへ簡単に伝染する能力を獲得したとの明確な根拠はないが、ウイルスがこの能力を獲得するか、またはヒトのインフルエンザウイルスと混ざって新しいウイルスを作ることが懸念されている。2007年2月3日にSuffolkで家禽にH5N1アウトブレイクが発生したが、現在のリスクレベルは極めて低い。
4	2007/04/02	70004	宇治製薬	コンドロイチン硫酸鉄コロイド	コンドロイチン硫酸鉄ナトリウム	牛の軟骨	米国	添加物	無	無	無			